

Nagoya University Medical Museum  
Small Exhibit 7th

三二展示会

# 千年の医書

— 平安時代から江戸時代までの古医書の世界 —



2014 6. 11 WED - 9. 30 TUE

平日 9:00-20:00 8月8日-9月30日は9:00-17:00  
土 13:00-17:00 8月9日-9月27日の土曜日は休館日  
休館日: 日・祝日、8月14、15、25-29日

名古屋大学附属図書館医学部分館 2階入口ホール

入場無料

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館  
名古屋市昭和区鶴舞町65  
TEL 052-744-2505

# 「千年の医書」

ミニ展示会

」は、名古屋大学医学部史料室(附属図書館医学部分館4階)に所蔵している史料の中から、平安時代から江戸時代までの千年にわたる、わが国の代表的な医書を展示公開するものです。

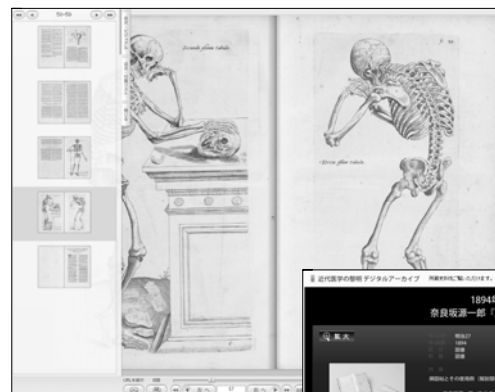
現存する日本最古の医書『医心方』や、平安時代末期以降に描かれた絵巻物『病草紙』、日本の医学に大きな影響を与えた中国後漢の『傷寒論』、陽明学者 中江藤樹が門人のために書いた医学入門書『捷徑医筌』、日本最初の実証的人体解剖図『蔵志図』、日本最初の本格的な西洋医学の翻訳書『解体新書』と前年に刊行された『解体約図』など、いずれも古医書の歴史を語る上で極めて重要な史料を展示します(一部覆刻版もあります)。



名古屋大学医学部史料室は、附属図書館医学部分館の4階にあります。

医学部史料室では、名古屋大学の源流である明治4年の名古屋県仮医学校設立前後の史料を中心とし、東海地方の医学の歴史的発展過程、さらに広く医学・医療史に関係する古医書、歴史的医療器具、古写真、絵画等を所蔵しています。

名古屋大学医学部史料室に所蔵している史料をデジタル化し、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」として、インターネットで公開しています。ぜひご覧ください。



近代医学の黎明デジタルアーカイブ  
<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/>



## 資料ご寄贈のお願い

みなさまがお持ちの医学・医療史に関連する資料がありましたら、ぜひご寄贈いただきますよう、お願いいたします。